

教科
国語

種目
書写

意見書

発行者
学校図書

	着眼点	意見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」）を確実かつバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの単元も整った読みやすい文字を書くための技能を効果的に考え、練習し、習得できるよう配慮されている。 ・「ためし書き」と「まとめ書き」を比較させることで、文字の変化に気づける場をつくるなど工夫がされている。
	(2) 学年間及び学年相互間の関連、系統性と汎用性	<ul style="list-style-type: none"> ・書写（字を書く前）の合言葉は全学年共通になるよう配慮されている。 ・1年生では、画数の少ない字「つくし」から、3年生では横画「二」から始まり、少しずつ習う点画が増えるように配慮されている。
	(3) 主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「確かめて書こう」→「考えて書こう」→「生かして書こう」→「ふり返ろう」の一貫した学習過程が位置付けてあり、学習の見通しがもてるよう、よく配慮されている。 ・「ふり返ろう」には、自分で考えて書く場を設けてあることが多く、児童が主体的に取り組めるよう、よく配慮されている。
2	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生では、前時学習した点画を基にしながらかける文字が手本になっていることが多く、既習を生かせる配慮がされている。 ・書き初めの言葉は、習ったことを生かしながらかけるよう配慮されている。
	(2) ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードがページに掲載してあり、タイミングよく活用できるよう工夫されている。どの学年も平均的な数になるよう配慮されている。
	(3) 多文化共生やバリアフリー等今日的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・水筆で書いて点画を実感する大切さを伝える配慮がされている。 ・学校生活や日常生活で役立つ原稿用紙やはがき、便箋の書き方を学べるよう配慮されている。
3	(1) 教科書の仕様、厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> ・厚さ、重み共に児童の身体的負担にならないよう配慮されている。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ・手本は原寸大のものが多く、教科書を開いてそのまま使えるよう配慮されている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・書きこみ欄を多くすることで、補助教材を使わなくてもよいようによく工夫がされている。 ・漢字、特に県名については4年生から毎年取り扱うなど、よく配慮されている。

教科
国語

種目
書写

意見書

発行者
教育出版

	着眼点	意見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」）を確実かつバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のプロセスを明確に示したり，着眼ポイントを端的に位置づけたりすることで，すべての学力の基本となる「適切に運筆する力」が確実に身につくよう，よく配慮されている。 ・字形で大切にすべきところがイラストや擬態語で示されていることで，児童が理解できるようよく工夫された内容である。
	(2) 学年間及び学年相互間の関連、系統性と汎用性	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を書く時の姿勢，鉛筆の持ち方の合言葉あり，確認しながら取り組むことができるように配慮されている。 ・運筆についての説明が細かく具体的で，当該学年の児童が理解できる言葉づかいで示す配慮がされている。
	(3) 主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめのページに既習内容が示されているため，自らめあてをもって書いたり，振り返ったりできるよう，よく配慮されてある。 ・対話が随所で位置づけられ，書写における対話の方法を習得できるよう，よく工夫された内容となっている。
2	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・書初めでは，全学年で日本文化，人とのつながり，世界を意識した言葉が取り入れられ，ふるさと教育の推進によく配慮されている。
	(2) ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に役立つ情報をウェブサイトから見ることができ，鉛筆の持ち方の合言葉，筆づかい，基本点画の運筆などを確かめられるよう配慮されている。
	(3) 多文化共生やバリアフリー等今日的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の使い方，手紙の書き方，メモの取り方，リーフレットの書き方などが配置され，書写の学習が実生活で生かせるように，よく工夫された構成になっている。
3	(1) 教科書の仕様、厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の厚み，重量，大きさにおいて，児童の負担にならないよう配慮されてある。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の手本は朱色と灰色の2色で示され，朱書きで穂先の動きと点画のつながりが示されており，運筆を意識して書けるようよく工夫された構成になっている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年には水書用紙が付けられており，文字を書く時の力の入れ方を体感できるように工夫された内容になっている。

教 科
国 語

種 目
書 写

意見書

発行者
光村図書

	着眼点	意 見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」）を確実かつバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」で単元の学習の流れを明確にし、「大切」で学習のポイントを押さえることで、基礎・基本が確実に身に付くようによく配慮されている。 ・高学年で今日的課題（アイヌ文化や石巻の手書き新聞など）を多く取り扱い、児童が書くことを通じて興味や関心をもてるような配慮がよくなされている。
	(2) 学年間及び学年相互間の関連、系統性と汎用性	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生では、「書く時の姿勢」「鉛筆の持ち方」について合言葉や写真・イラストで指導できるようになっている点がよく工夫されている。 ・3年生では、毛筆の導入で習字道具の準備、片付け、姿勢、筆の持ち方などを6ページに渡って細かく指導できるような工夫が多くなされている。
	(3) 主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」という単元の学習の流れを示し、児童が見通しをもって取り組めるような配慮がよくなされている。 ・4年生以上の教科書では、単元名の後に課題追究的なリード文を位置付け、自分の各文字への対話を促すような工夫がなされている。
2	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・書初めでは、1年生「ふじ山」、2年生「元気にあいさつ」3年生「正月」「友だち」、4年生「出発」「明るい心」5年生「希望」「新しい風」、6年生「感謝」「将来の夢」を扱い、季節や発達の段階に応じた文字を採用する配慮がよくなされている。
	(2) ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードでは、目次、裏表紙、各頁に掲載してあり、動画コンテンツで運筆などを確認し、児童が活用しやすいようによく工夫がなされている。
	(3) 多文化共生やバリアフリー等今日的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な書体（観察カード、リーフレット、プログラム、ポスターなど）の文章を取り扱うことで、他教科への横断的な学習を可能にする点がよく工夫されている。
3	(1) 教科書の仕様、厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のサイズ、総頁数、重量は適切で、児童が持ち運んだり、日常生活で活用したりしやすい工夫がなされている。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ・UDフォントとカラーUDを採用しており、特に筆順ごとに色を変えるなど配色の仕方を工夫することで、色覚等に障害をもつ児童への配慮がよくなされている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の巻末に水書きシートが付属されており、毛筆へつながりをもたせている。また、6年生で「書写ブック」として、6年間の学びを掲載し、学びを振り返ることができる配慮がなされている。

教科
国語

種目
書写

意見書

発行者
東京書籍

	着眼点	意見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」）を確実にかつバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 身近な硬筆の文字から課題を見出し、文字を整えて書くための原理・原則をページ端の「書写のカギ」を手掛かりに見つけ出せるなど、基礎基本の定着への配慮がある。 字形で大切にすべきところが、全学年共通のイラストや擬態語で示しており、よく分かる構成になっている。
	(2) 学年間及び学年相互間の関連、系統性と汎用性	<ul style="list-style-type: none"> 1年生のスタートカリキュラムとして、「おれ」「まがり」「とめ」や、筆順の色分けがあり、細かく指導できるようよく配慮してある。 3年生では、準備・片付け・姿勢・筆の持ち方などが丁寧に示されるとともに、なぞり書きの手本が太字で、筆順で色がくっきり変えてあるなど、分かりやすいようよく配慮してある。
	(3) 主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> 「書写のカギ」で、何を学ぶかを明確にしている。 「見つけよう→たしかめよう→生かそう→話し合おう→広げよう」の学習過程が明確で、児童の気づきや対話が生み出されるようよく配慮されている。
2	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 論語・枕草子・百人一首などの古典の視写が位置付けられていたり、世界の文字との比較によるグローバルな題材を用いたりしていることで、伝統的な文化やふるさとに目を向けられるようよく配慮されている。
	(2) ICT を活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> D マークがついており、インターネットを使った学習を児童自ら行うことができる。書く姿勢や毛筆を書いている動画などを解説付きで見ることができ、学習に活用できるよう配慮されている。
	(3) 多文化共生やバリアフリー等今日的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 手紙、ポスター、新聞など、他教科や日常生活につなげる「生活に広げよう」が示されており、実生活につながるようよく配慮されている。
3	(1) 教科書の仕様、厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 横幅を A4 サイズにすることで、インデックスをつけて分かりやすくしている。重さ・厚みともに負担のないよう配慮されている。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> 一画ずつ色を変えることで、どこまでを一筆にするか分かりやすく工夫されている。また、写真の提示や書き込み欄の工夫などをして左利きの児童への配慮もよくされている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 「書写のカギ」がインデックスで示され、学習事項と既習事項が一目で分かるよう工夫されている。また、1、2年生全員に水書用紙がつけられ、硬筆での適切な書写動作が身につくよう配慮されている。

教科
国語

種目
書写

意見書

発行者
日本文教出版

	着眼点	意見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」）を確実かつバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 書写の基礎・基本が身に付くように、文字を正しく整えて書くための原理・原則を知り、学びの過程や自己評価を通して児童の学習能力の向上が図られるように配慮されている。 反復的に文字を書くことで、文字の部分や特徴などの技能の定着を重視した構成になっている。
	(2) 学年間及び学年相互間の関連、系統性と汎用性	<ul style="list-style-type: none"> 1年生では、「書く時の姿勢」として、合言葉で指導できるようになっている。また、鉛筆の持ち方については紙面で視覚的にサポートする工夫がなされている。 3年生では、書写道具の準備、片付け、姿勢、筆の持ち方などを6ページに渡って掲載し、解説している。
	(3) 主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> 「考える」、「確かめる」、「生かす」の3つのステップで学習過程を構成し、明確になるような配慮がよくなされている。 「ためし書き」と「まとめ書き」という形式で、児童が自ら問題解決をするような工夫がよくなされている。
2	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 書初めでは、1年生「お正月」2年生「新しい年」3年生「正月」「生きる力」4年生「平和」「元気な声」5年生「美しい空」「心を開く」6年生「豊かな心」「希望の朝」を扱い、季節や発達段階に応じた文字を採用する配慮がなされている。
	(2) ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードでは、「まなビューア」として動画コンテンツを用い、学習をサポートできるように工夫がなされている。
	(3) 多文化共生やバリアフリー等今日的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 様々な書体（絵日記、手紙、リーフレット、寄せ書きなど）の文章を取り扱うことで、他教科への発展的な学習を可能にする点がよく工夫されている。
3	(1) 教科書の仕様、厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 教科書のサイズ、総頁数、重量は適切で、児童が持ち運んだり、日常生活で活用したりしやすい工夫がなされている。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> UDフォントとカラーUDの採用しており、色の明度で運筆の仕方が分かるように工夫されている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 水書シートを1・2年生の教科書に付属し、毛筆へのつながりを意識できるよう配慮がなされている。また、巻末に1年間の学習内容を一覧提示することで、学びを振り返ることができるよう工夫がなされている。